モクツウ

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は円形又は楕円形の切片で厚さ 0.2～0.3cm，径 1～3cm である．両切面の皮部は暗灰褐色を呈し，木部は淡褐色の道管部と灰白色の放射組織とが交互に放射状に配列する．髄は淡灰黄色で，明らかである．側面は灰褐色で，円形又は横に長い楕円形の皮目がある．

本品はほとんどにおいがなく，味はわずかにえぐい．

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，主として結晶細胞列を伴う繊維束と石細胞群とからなる輪層が師部の外辺を弧状に囲んでいる．皮部の放射組織は単晶を含む厚壁細胞からなる．形成層付近は明らかで，髄周辺の細胞は極めて厚壁である．木部放射組織及び髄周辺の柔細胞にはシュウ酸カルシウムの単晶及びでんぷん粒を含む．でんぷん粒の径は 8μm 以下である．